

[目次]

まえがきにかえて・・・3

第1部 授業の理論と方法

1 物語が対話と討論を生む

はじめに・・・8

1 物語が共感と切実な思いを生み出す・・・8

- ❖ 生徒の気持ちが動く物語と動かない物語・・・8
- ❖ 物語は想像の世界・・・9
- ❖ 物語のなかで「他人」のことが自分ごとになる・・・10
- ❖ 生徒は自分ごととして真剣に対話する・・・10

2 歴史を物語り、生徒が対話し討論する授業が生み出すもの・・・11

- ❖ 「物語る授業」が「討論する授業」を実現する・・・11
- ❖ 主体的な学び・・・11
- ❖ 対話的な学び・・・11
 - (1) 歴史的な出来事や人物との対話による学び・・・11
 - (2) 生徒どうしの対話による学び・・・11
- ❖ 深い学び・・・12
 - (1) 先人の歴史的な経験をふまえて、自らの判断力を鍛える・・・12
 - (2) 主体的で協同的な学びを実現する・・・12

2 物語の「筋」と生徒の成長をかさねる

- ❖ 生徒が求めているものをとらえる・・・13
- ❖ 生徒が納得できる「筋」をめざす・・・13
- ❖ 生徒は成長することによって未来の展望をつかむ・・・13
- ❖ 物語空間が「共感」と「切実さ」を生み出す・・・14

3 教科書をどう使うか

- ❖ 教科書を前提とするからこそ生徒は授業に引き込まれる・・・15
- ❖ 授業の前段で教科書を学ぶ・・・15
- ❖ 歴史を学び、歴史で学ぶ・・・15
- ❖ 「考える授業」を際立たせる受験指導・・・16

4 授業案をどう使うか

- ❖ 語りやすいように語る・・・17
- ❖ 授業案で授業を改善する・・・17
- ❖ 授業案は永遠に完成しない・・・18

5 授業のレベルアップめざして

- ❖ 「聴くこと」からはじまる・・・19
- ❖ 「聴くこと」に注意力を集中させる・・・19
- ❖ 相手の方を向いて聴く・・・20
- ❖ 相手の方を向いて発言する・・・20
- ❖ 聴いていない生徒がいたら所属する班に指示を出す・・・20
- ❖ 話し合い活動の後、必ず発言させる・・・21
- ❖ 班やグループでののはなしあいのやり方・・・21
- ❖ 班の代表は班としての発言を決定しなければならない・・・22
- ❖ グループでののはなしあい後の代表発言・・・22
- ❖ 班でののはなしあい後の代表発言・・・23
- ❖ 話し合い活動後の代表発言・・・23
- ❖ メンバーには代表を選んだ責任もある・・・24
- ❖ 話し合い活動をレベルアップして討論へ・・・24
- ❖ 論題は社会科授業の目的を意識して・・・25
- ❖ 選択肢を設けた論題はなくしたい・・・26

6 授業案を改善する

- 1 1年生最初の授業〈サル(?)から人間へ〉・・・27
- 2 教科書記述への疑問から改訂した授業〈黒船がきた〉・・・35
 - 通信プリントによる意見交流・・・45
- 3 討論授業経験のない3年生の授業〈大日本主義か小日本主義か〉・・・49
 - 前半・・・50
 - 後半・・・71
 - 学級での討論・・・78
 - 通信プリントによる意見交流・・・81

7 テストをつくる

- 1 単元テストで教え合いをつくりだす・・・85
 - ❖ 単元テストとは・・・85
 - ❖ 学習班で助け合う・・・85

- ❖再テストの実施・・・86
- ❖テスト勉強での教え合い・・・86

2 定期テストで授業を再現する・・・94

- ❖授業の流れを再現・・・94
- ❖1つの学年を複数の教師で担当する場合・・・94
- ❖生きた知識の定着度をみる・・・94
- ❖思考・表現力をみる・・・95

第2部 授業案

戦後の国際社会

- [01] 世界で起きていること・・・98
- [02] 冷たい戦争・熱い戦争・・・114
- [03] 平和会議かミサイルか・・・121
- [04] 泥沼の中東戦争・・・129
- [05] 核戦争後の地球Ⅰ・・・139
核戦争後の地球Ⅱ・・・143
- [06] 恐怖の核戦争・・・149
- [07] 気候大異変Ⅰ・・・159
気候大異変Ⅱ・・・159
- [08] 核と温暖化・・・164
- [09] 国連は何をしているのか・・・176
- [10] 予言・・・187